

介護困りごと相談

どげしたら、いいかね？



認知症の介護の困りごとや疑問について、介護経験者の方や専門家からのアドバイスを紹介します。



義母の汚れたパンツが何枚か押入れの奥から見つかりました。時々スボンも濡れているようです。どうしたらいいでしょうか？



介護経験者Aさん

「汚れているから着替えましょう」と言っても本人は認めず、そのままなので困りました。そこで言い方を変えてみました。「娘さんからプレゼントですよ。使ってみたら」と失禁用下着を勧めると、やっと身に着けてくれるようになりました。入浴の時に繰り返しプレゼントだと声を掛けるようにした所、今はすぐに着替えてくれるようになりました。

デイサービスの職員Bさん

汚れた物を自分でなんとかしようと思っ、て、しまい込んだものだと思います。見つけても、黙って始末した方がよいと思います。デイでは、こまめにトイレに誘うようにしています。「用事がありますから」と立ち上がった所で「今のうちにトイレに行っておきませんか？」と声をかけます。座っているときより、立ち上がってから声をかけます。声をかけるタイミングが大切かもしれません。

ケアマネジャーからのアドバイス

だれでもいつかはこうなると気持ちを割り切って介護をはじめましょう。本人のプライドを大切にしながら、いろいろな方法を試してみます。



- 1、紙パンツを使う時期を見極めることは、ご自宅では難しいこともあります。デイサービスなどで協力をしてもらえますので相談して下さい。
- 2、便利でいろいろな介護用品が多くありますので、介護経験のある方や購入店舗のスタッフに積極的に相談をされることをおすすめします。

やすらぎの家居宅介護支援事業所 TEL 23-9555
介護支援専門員：野淵(のぶち) 紀美子

編集後記

今年は柿の成り年だそうです。やすらぎの家でも、皆さんがたくさん干し柿作りをされました。皮をむき、紐につるす、根気のいる作業ですが、「前にもやってたよ」と、楽しそうに慣れた手つきで、手を動かしておられました。寒風にさらされて甘くなる干し柿。できあがり、とても楽しみにしているところです。



やすらぎの家だより 第42号

社会福祉法人やすらぎ福祉会・やすらぎの家デイサービス・やすらぎの家居宅介護支援

発行所 出雲市大津町西谷 2604-8

平成30年11月13日発行

TEL(0853)23-9555 ホームページ <http://izumo-yasuragi.org>

発行責任者 日野 和子



阿須利さんの例大祭



小学生の巫女さんの舞
お化粧もきれいで、
かわいかったですよ

10月15日の阿須利神社のお祭り「あそこの神社は、私の実家のところだよ。懐かしいわ〜。」「小さい頃は、店屋がずら〜と並んで、にぎやかだったよ〜。」祭りの時の思い出がよみがえってきます。

今年は子供の番内さんもたくさんいて、神楽団が一層にぎわい、盛り上がってます。「まめなやに〜、まめなやに〜！」番内さんが、御幣(ごへい)でみなさんの頭の上を仰ぎ体を清めてくださいました。近所の子供がお母さんにしがみつき、怖いのを我慢しながら獅子舞に噛まれる姿も微笑ましく、「いつの時代も一緒だね。」とわが子が幼なかった頃も思い出された一日でした。

デイサービス ほっとコーナー



ベっぴんさんに
写してもらって
嬉しいわ!

米寿を迎えられたお二人。
記念写真を額に入れて贈りました。

長寿お楽しみ会



100才まで、まだまだ
がんばるぞ〜!
ばんざ〜い!!!



やすらぎの家
コーラス部のみなさん
勢ぞろいで舞台に立ちました!



敬老週間には、花の郷と
歴史博物館へ行きました。

懐かしの昭和物語

何気ない会話の中で見つけた、心に残る
「昭和の暮らし」を紹介していきます。

いなご取り



「昔は、稲刈りの頃に、いなごを取って食べとったが〜」
「あげだが〜。巾着の袋に竹づつをさしてねえ…腰にさげて、
いなご取ってはそこから入れてね。いっぱい取ったもんだわ。」
「そげそげ!」「なつかしわ〜。」
「お湯をかけてから、ほうろくで炒って食べとったが〜」
「甘辛に味付けてね。ちょっと香ばしてね。」
「まいわ〜と喜んで食べとったよねえ…ははは!」
「孫に話したら、びっくりしとったわー、
『おばあちゃん、虫を食べとったのー!!!』って」
「あの頃は、あげな物でも貴重な食べ物だったわね。」

一中生徒さんとの交流



ありがとう! また
いつでも来てね。

職場体験実習に来た
生徒さんと手紙を交
換しました。

美味しい
お抹茶を入れて
さしあげますわ?

なつかしいね…
この歌 流行ったが〜。

趣味のひとつ



玄関は私が
きれいにしとく
けんね!



カラオケの日♪



介護こぼれ話

介護うつ

「以前はショートステイに預けて、私が休むことに気が引けていました。でも、どれだけ疲れていたか、初めて分かりました。私が倒れないためにも、必要な休息だったんですね。母が家に戻った時には、少し優しく迎えることができるようになった気がします」

(やすらぎの家 家族懇談会より)

認知症の介護は肉体的な疲労だけでなく、常に見守りが必要で目が離せない事から、精神的にも緊張を強いられます。介護者の心身の負担が大きくなり、疲れが蓄積すると、気力がなくなったり、食欲がなくなったり、不眠になったりする人があり「介護うつ」と言われています。

実は介護に関わる人なら誰でもかかる可能性があります。自分の心と身体の状態に気をつけ、サービスを使って息抜きをしながら頑張り過ぎない介護をしていきましょう。